



9.1 いらっしやいませ サテライトオフィス新たに

三好市で9社目のサテライトオフィスとなる株式会社アクトビの開所式が行われました。本社は大阪市で、DX（デジタルトランスフォーメーション）コンサルティングなどを生業としており、三好市の人材確保におけるサポート、過ごしやすい静かな環境などを魅力を感じ開所に踏み切りました。今後は自社の成長とともに地方活性化に貢献し、5名採用を目指すと言いました。



9.8 自衛官募集相談員 地域をつなぐ架け橋に

自衛官募集相談員の委嘱式が三好市役所で行われました。自衛官募集相談員とは、自衛隊が行う自衛官志願者への情報提供や広報活動に協力し、地域と自衛隊の架け橋として活動していただく方のことで、任期は2年間です。5名（1名欠席）の相談員に、自衛隊徳島地方協力本部長と高井市長から委嘱状が交付されました。



8.1 漫オワークショップ おでかけよしもと放課後クラブ

吉本芸人みつとしーさんと中山女子短期大学さんを講師に招いた「漫オワークショップ」が山城公民館で行われました。山城中学校生徒や地元住民らが参加し、自身で考えたオリジナルの漫才を披露しました。表現力やコミュニケーション力を高めるワークショップでしたが、どのコンビも高いクオリティでした。会場は終始笑いに包まれ、講師の2名から好評を博していました。



9.2 夏の最後にわくわくする思い出を JC わくわくフェスタ

池田湖水際公園でJC わくわくフェスタが開催され、多くの家族連れらが足を運びました。ステージでは池田中学校吹奏楽部による演奏やヒーローショーなどが行われ、盛り上がりを見せました。他にも巨大プールや池田湖で水遊びをしたり、キッチンカーでの食事を楽しんだりして、来場者達は1日遊び尽くしていました。水辺ではグランドピアノが用意され、ピアニストたちがドラマティックな演奏を奏でました。最後は花火が打ち上げられ、夏の最後に彩を添えました。

叙勲受章

長年にわたる職務に対する功労や社会貢献をたたえる叙勲を受章された方をご紹介します。

高齢者叙勲 瑞宝双光章



平尾 靖一さん
(三野町加茂野宮)

昭和35年、池田町池田小学校に赴任し、教育者としての第一歩を踏み出され、平成8年3月末に三野町芝生小学校長を最後に退職するまでの長きにわたり、小・中学校教育に尽力されました。



9.12 徳島県消防防災 航空隊との合同訓練

秋の紅葉シーズンで山の事故が増えるこの時期、池田消防署と徳島県消防防災航空隊が山岳救助を想定した合同訓練を行いました。池田消防署祖谷分署管内での救助を想定したもので、より迅速かつ的確な救助活動へ繋げることが出来るよう、両組織の連携の強化を図りました。今後も連携して安全を守り続けていきます。



9.10 防災シンポジウム 災害をのりこえよう

「三好の自然災害をみんなでのりこえよう」と題して三好市防災シンポジウムが池田総合体育館にて行われました。講演では長谷川教授が、三好は災害からできた土地なので、常から災害への備えが必要だ、と語りました。その後のパネルディスカッションでは、災害への心構えを議論しました。他にも、池田高校や防災会などが用意したブースもあり、多くの方が防災への知識を深めました。



9.3 山城地区 防災訓練 自分たちの地区を守る知識

山城地区住民福祉協議会主催による防災訓練が山城公民館で行われ、地域住民らが防災について学びました。山城小学校の児童らも参加し、学校から公民館まで避難を想定しながら歩きました。その他、普段見られない消防車の細部を見学したり、消火器による消火訓練をするなど有事の際に動けるよう学びました。幅広い世代が一緒になって学ぶことで地域の防災力が高まりました。



9.10 パパ・ママ救命講習 緊急時こそ確実な対応を

池田消防署の消防士や救急救命士によるパパ・ママ救命講習が「救急の日」にちなんで行われました。父母に限らず、保育士を目指す学生や祖父母等、様々な人が集まりました。講習では、アナフィラキシーや誤飲誤嚥等、緊急時の対処方を訓練用の人形を使って学びました。参加者たちは対処に具体的なイメージもつことができ、大切な命を救う知識と技術を身に付けました。



9.10 「蔦監督 - 高校野球 を変えた男の真実 -」を上映

池田高等学校野球部を甲子園で3度の優勝に導いた故・蔦文也監督の姿を描いたドキュメンタリー映画がフレスポ阿波池田駐車場で上映されました。この日はイケダ夜市も同時に開催され、家族づれらが食事を楽しむ中、懐かしく貴重な映像が映し出されました。会場は、あいにくの雨模様でしたが、多くの観客が傘を差しながら、時代を創った名将の映画を鑑賞しました。